

農業技術情報

令和4年9月15日

池田町農業構造政策推進協議会

十勝農業改良普及センター

十勝東部支所 015-572-3128

J A 十勝池田町 572-3131

高島支所 573-2111

池田町産業振興課 572-3118

農作物の生育・作業の状況（池田町 9月15日）（ ）内は平年値

作物名	遅速 日数	生育状況	農作業状況
秋まき小麦	—		
馬鈴しょ	—		収穫期 9/8 (9/6) 収穫終 9/17(9/18)
てん菜(移植)	+1	根周 41.8 (38.5)cm	
てん菜(直播)	±0	根周 33.1 (33.9)cm	
大豆	+5	茎長 68.3 (74.9)cm 葉数 9.2 (9.8)枚 着莢数 590.5 (536.9)個/m ²	
小豆	+4	茎長 56.7 (54.4)cm 葉数 9.4 (10.2)枚 着莢数 323.4 (269.4)個/m ² 成熟期 9/12 (9/16)	収穫始 9/14 (9/25)
菜豆(大金)	+5		収穫期 9/9 (9/17)
菜豆(手亡)	+4	茎長 42.5 (54.9)cm 葉数 7.1 (7.5)枚 着莢数 188.0 (201.6)個/m ² 成熟期 9/1 (9/5)	収穫始 9/7 (9/11)
牧草			収穫期 9/12 (9/9)
サイレージ用 とうもろこし	+2	稈長 290.9 (283.5)cm 黄熟期 9/16 (9/18)	

1 小麦

(1) は種時期

越冬前の葉数は5葉を目標に、4～6葉が確保できる時期が「は種時期」です。越冬前に適正な生育量を確保するため、表2を参考に適期は種を心がけてください。
表1 小麦の極端な早まき、遅まきのリスク (R4「北海道の小麦づくり」一部改変)

	リスク
遅まきの 場合	<ul style="list-style-type: none"> ・越冬前の生育が不十分となりやすく、寒害や凍上害(断根、根浮き)を受けやすくなる。 ・は種時期が遅くなるほど雪腐病の発病度が高まり、減収・品質低下の要因となる。 ・成熟期が遅れ、雨害(穂発芽等)にあう危険性が高まる。 ・遅れ穂が多発しやすくなり、登熟ムラや粒の充実不足等が起きやすい。 ・地温が低くなるため、なまぐさ黒穂病の感染リスクが高まる。

(2) は種量

小麦種子の発芽率が90%の場合、適期は種で160~170粒/m²とし、は種時期の早晚により、は種粒数を増減します。

表2 は種時期別のは種量例(池田アメダス過去10年平均気温から積算気温を算出)

種時期	早期		適期	晩期
	9/16~20		9/21~25	9/26~9/28
は種粒数(粒/m ²)	120~150		160~170	~255
は種量(kg/10a)	士幌町産	4.8~6.0	6.4~6.8	~10.2
	足寄町産	4.3~5.4	5.7~6.1	~9.1

※は種量例は千粒重を士幌町産39.9g、足寄町産35.7gとして算出しています。実際の種子の粒重に応じては種量を調整しましょう。

<は種量計算例>

千粒重37gの種子を160粒で計算する」場合

$$\text{【千粒重 (g)} \times \text{は種粒数 (粒/m}^2\text{)} \div 1000 = \text{【は種量 (kg/10a)}]$$

$$37\text{g} \quad \times \quad 160 \text{ (粒/m}^2\text{)} \quad \div 1000$$

$$0.037\text{kg} \quad \times \quad 160000 \text{ (粒/10a)} \div 1000 = 5.9 \text{ (kg/10a)}$$

※上記のは種粒数は出芽率90%の場合です。出芽率が低いほ場では1割程度増します。

(3) は種深度

は種が深すぎると二段根、出芽ムラで初期生育が劣ります。均一な出芽と良好な初期生育を確保するために以下の点にちゅういしましょう。

ア 砕土を細かくしすぎない

イ は種前に鎮圧する等の処理を行い、は種深度は2~3cmとする。

浅まきの場合、出芽は早くなりますが根張りが悪くなり、その後の生育に影響してきます。また、深まきした場合は出芽が遅れ、越冬前の生育量が足りずに雪腐病発症の危険があるため、適正なは種深度を守りましょう。

(4) 施肥量

リン酸、カリ、苦土は全量基肥として施用しましょう。窒素は越冬前に小麦が吸収する量は4kg/10a程度です。

過剰な窒素施用はコストが無駄になるほか、越冬後の茎数コントロールが困難になります。また、土壌凍結が浅い年では下層に流亡して地下水・河川汚染の原因となりますので、適正な施肥を行いましょう。

表3 は種時の施肥量 (kg/10a) (北海道施肥ガイド 2020 より)

土壌型	低地土	泥炭土	火山性土	台地土
窒素	4	4	4	4
リン酸	12	14	15	14
カリ	9	10	10	9
苦土	3	4	4	4

【基肥施肥例：「BB850」×50kg/10a (窒素-リン酸-カリ-苦土=4-12.5-5-2.5kg/10a)】

(5) 雑草対策

次年度産秋まき小麦のは種前後の除草は、優占雑草種に応じた除草剤を選択してください。雑草が小麦に与える害としては「養水分の収奪」「病害虫繁殖の助長」などがあり、結果的に収量、品質の低下に繋がります。除草剤を適正に使用し、雑草対策を行ってください。

表4 秋まき小麦は種後除草剤例

薬剤名	処理方法	使用時期	薬量 (/10a)	使用回数
ガレース乳剤※1,2	全面土壌散布 (雑草発生前)	は種後～出芽前	200 ml	1回以内
		小麦出芽後～出芽揃期	150～ 250 ml	
	土壌兼雑草茎葉散布	麦の1～3葉期 (雑草発生前～発生始期)	100～ 150 ml	
ガルシアフロアブル※1,2	全面土壌散布	は種後～出芽前(雑草発生前)	150～ 250 ml	1回以内
	雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	小麦出芽直前～小麦3葉期 (雑草発生前～発生始期)	100～ 200 ml	

※1 イヌカミツレが多発するほ場では、使用基準の範囲内において高薬量で使用する。

※2 ガレース乳剤・ガルシアフロアブルは同一成分のジフルフェニカンを含んでおり、いずれか1回 のみの使用とする。

2 ばれいしょ

収穫は平年並の8/28に始まりました。途中降雨もありましたが、現在は順調に進んでいます。

(1) 収穫作業

- ア 収穫が遅れると、黒あざ病による腐敗、緑化、品質の低下が懸念されます。
- イ 掘り取り後は腐敗を防ぐため、風乾を十分に行ってください。
- ウ 選別時や網コン等への投入時には、傷、打撲などができないよう注意しましょう。

3 豆 類

豆類は全般的に生育が進んでいます。収穫作業のタイミングが遅れないように 注意しましょう。

(1) 菜豆類の収穫

本年の成熟は平年より進んでいます。ほ場毎の登熟状況と天候を見ながら、収穫方法に応じて適期収穫と乾燥調製に努めましょう。

ア 収穫が早すぎる

へこみ・つぶれ粒が発生しやすくなり、収穫が遅れると色流れ粒、裂皮、割れ粒が発生しやすくなります。収穫時には収穫機械、脱穀機の調整を確認するようにしましょう。

イ 収穫が遅い

子実水分が低くなりすぎ、皮切れ粒、破碎粒が発生します。子実水分は成熟期を過ぎると直線的に下がり、完熟期（熟莢率ほぼ100%）から6日後には19~18%まで下がります。被害粒の発生を考えると成熟期から6日以内に脱穀するのが望ましいと考えられます。

表6 菜豆の子実水分に応じた脱穀機こぎ胴回転数の目安

時期	完熟期	→	6日後
子実水分	26%~23%	23%~19%	19%~18%
脱穀回転数	220	250~300	220

※26%以上の高水分では押傷・つぶれ粒が多発し、18%以下の低水分ではこぎ胴が低回転でも裂皮粒が多発します。また、適水分（19~23%）でも300回転以上では損傷粒が発生します。

○ピックアップ収穫

- ・ 収穫・脱穀適期：完熟期（熟莢率ほぼ100%）から6日以内
- ・ 作業速度：0.7m/s以下
- ・ 倒伏程度によらず収穫が可能（ビーンハーベスタまたはビーンカタ）

○ダイレクト収穫

- ・ 収穫・脱穀適期：完熟期（熟莢率ほぼ100%）から6日以内
- ・ 作業速度：0.6~0.8m/s（総重量700g/m²以上では0.6m/s未満）
- ・ 倒伏が見られるほ場では、作業機の速度は0.5m/sで収穫してください。倒伏がひどいほ場では追い刈り収穫を行ってください。

《参考》金時の子実水分の簡易判定基準(H13十勝農試技術普及部)		
子実水分(%)	指で押した場合	爪で押した場合
30	強く押すと弾力性を感じる	爪痕の周囲が広範囲にへこむ
22	強く押すとへこむ	爪痕の周囲が広範囲にへこむ
20	へこまない	爪痕が深くへこむ
18	へこまない	爪痕が浅くへこむ
15	へこまない	爪痕がかすかにつく(完熟)

(3) 白系菜豆(手亡・福白金時)の汚粒・損傷について

手亡類は完熟期で子実水分が25%程度まで低下しますが、金時類と比べそれ以降の水分の減りが遅いため注意が必要です。汚粒や損傷を避けるために、以下のことに注意しましょう。

- ・降雨直後や高水分での収穫は避ける。(手亡類は子実水分20%以下(完熟期から1週間以降)で収穫可能)
- ・収穫前に雑草の抜き取りを行う。
- ・過乾燥・葉落ちの悪い豆は、スレッシャの脱穀スピードを抑える。

(4) 小豆の収穫

収穫適期の目安は「熟莢率」で判断し、未熟粒、過熟粒にならないよう適期収穫に努めましょう。

表7 小豆の収穫適期の目安(H14・H16中央農試 H9十勝農試)

区分	収穫時期の目安	収穫早限の目安
ピックアップ 収穫		熟莢率80%、子実水分25%程度
ダイレクト 収穫	完熟期(熟莢率100% 子実水分16~18%)から2週間以内	①汎用コンバイン(4条)~熟莢率90%、子実水分25%程度 ②豆用コンバイン(2条)~熟莢率80%、子実水分25%程度

4 てんさい

8月まで生育は順調に推移してきましたが、現在は根部の肥大が鈍化し平年並です。

(1) 床土の準備

来年用の床土を準備する際には病気の恐れのない土を用意し、pH測定後、6.0~6.5になるよう酸度を矯正しましょう。

ほのほの情報や農作物防除基準を参考に適正防除に努めてください。